

医療ソーシャルワーク論

【 地域生活支援 】 研修のご案内



- 【 日 程 】 1日目 2019年 7月 20日 (土)
2日目 2019年 8月 3日 (土)
3日目 2019年 8月 4日 (日)
- 【 時 間 】 10:00~16:10 (受付 9:30)
- 【 場 所 】 福岡県社会福祉士会 博多事務所
福岡市博多区博多駅前3丁目9番12号アイビーコートⅢビル5F
- 【 内 容 】 「地域における生活支援」 研修プログラム (別紙のとおり)
(全日程の参加及び第3回終了後のレポート評価での合格を以て修了となります。)
- 【 講 師 】 1日目 社会保険大牟田天領病院 地域医療連携室課長 梅田 真嗣 氏
2日目 西南学院大学 准教授 萩沢 友一 氏
3日目 サポートオフィスえん 認定社会福祉士 荒木 純子 氏
- 【 定 員 】 20名 (但し、定員になり次第締め切ります。)
- 【 参加費 】 (会員) 16,500円 (県外会員) 25,000円 (非会員) 33,000円
- 【 参加資格 】 社会福祉士有資格者 医療現場でソーシャルワークを実践している者、
またはそれを目指している者 (学生を除く)
- 【 申込方法 】 「研修参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXもしくはホームページの
「研修会参加申込受付」でお申込み下さい。(備考欄へ経験年数を要記載)
締切後、正式な案内を郵送致します。
その後、指定口座にご入金頂き、確認出来次第受講確定となります。
- 【 申込締切 】 2019年 6月 24日 (月)
- 【 研修単位 】 認定社会福祉士認証研修：医療分野 1単位
(認証番号：20130035)
生涯研修制度：1単位



【お問合せ先・申込先】

公益社団法人福岡県社会福祉士会 事務局 辻・高森
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-9-12 アイビーコートⅢビル5F
TEL 092-483-2944 FAX 092-483-3037
E-mail info@facsw.or.jp

2019年度 医療ソーシャルワーク論（地域生活支援）研修プログラム

研修目標	退院患者の生活相談に応じ、支援を行えるようにする。	
到達目標	地域で生活する患者と家族の課題を理解できる。 最適な医療サービスおよびその他の社会サービスを活用して地域生活が送れるように支援する。	
研修内容	① 退院後の受診、受療の支援（在宅患者の支援） ② チームアプローチ、他職種連携、組織間連携、ネットワーク、社会資源開発 ③ 地域包括ケア、社会保障制度等関連法制度	
全体像	<ul style="list-style-type: none"> ・医療現場におけるプランニングの基本と連携。（講義と演習） ・事例を示し、アプローチの実際を考察。（グループ討議） ・事例を活用し、実際の経過からネットワーク、アプローチや地域包括ケアに関する考察をグループで行い、それを発表する。 ・現在の社会保障制度、医療制度、あるいは成年後見制度や介護保険制度に関するもの等を学び、事例検討等により具体的な対応方法を学ぶ。 	
【1日目】	10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅支援におけるソーシャルワーク実践その1 ・インテーク、アセスメント、プランニング、インターベンション、評価、終結（講義および演習） ・ソーシャルワーク理論、実践モデルの概要についての講義
	13:00～14:00	・在宅支援における留意点
	14:10～16:10	<ul style="list-style-type: none"> ・予測する、変化を把握する、不安を軽減する、社会資源を活用する、連絡・調整を行う、患者・家族の力を伸ばす。（事例を通してグループ討議と発表）
【2日目】	10:00～12:00	・在宅支援におけるソーシャルワーク実践その2
	13:00～14:30	・チームアプローチと他機関とのネットワーク構築（講義と演習）
	14:40～16:10	・社会資源の活用、拡充、開発プロセス（事例を通してグループ討議と発表）
【3日目】	10:00～12:00	・在宅支援におけるソーシャルワーク実践その3
	13:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な資源の活用と新たな体制の組み直し、新しい仕組みの創設等、地域包括ケア（講義と演習） ・社会保障制度や医療制度の理解と活用、在宅支援における家族、医療チーム、関連職種、地域の様々な領域へのアプローチ（講義、演習およびグループ討議）
	15:10～16:10	・全体のまとめ